

デンドラ



姥捨山には、 続きがあった。

浅丘ルリ子 倍賞美津子 山本陽子 草笛光子 6月25日(土)全国公開
山口果林 白川和子 山口美也子 角替和枝 田根楽子 赤座美代子 www.dendera.jp

原作:佐藤友哉「デンドラ」(新潮社) 監督・脚本:天願大介
製作:企画:中沢健司 企画制作:長岡隆雄 共同プロデューサー:宇生重明 共同プロデューサー:新野安行 共同プロデューサー:丸山由良
音楽:めいどCo. 撮影:古谷 巧 照明:高坂俊典 美術:堀川尚大 装飾:相田敏春 録音:加米利彦 VFX:特撮造形:岡原裕也 衣裳:千代田圭介 ヘアメイク:小沼みどり 編集:阿部友英 監音:矢野正人 音響効果:柴崎聖志 イメージ・デザイン:ススキコーポ キャスティング:吉川誠史 助監督:千村利光 製作担当:坪内 一
企画協力:新潮社 撮影支店:山形県 制作協力:庄内映画村 制作プロダクション:ザアール 製作:「デンドラ」製作委員会 配給:東映 助成:宮文化芸術振興費補助金
©2011「デンドラ」製作委員会 西暦 (DENDRA) 5.2



現代を生き抜く2作品

イントロダクション

故・今村昌平が監督したカンヌ国際映画祭パルムドール受賞作「楢山節考」から28年。今村監督の息子・天願大介監督が、佐藤友哉の同名小説を基に、姥捨山伝説の後日談を描き出す。一度は死ぬため山に捨てられながら、幾多の困難にもめげず“生き抜く”力を取り戻していく主人公を浅丘ルリ子が演じるほか、倍賞美津子、山本陽子、草笛光子など日本映画界を代表する名女優が集結し、老いるとは何か、生きるとは何かを熟のこもった演技によって表現している。今を乗り越えようとする老女たちが、人の持つ生命力を呼び覚ます、今年最大の話題作だ。

老いて生きる、は罪なのか。

ストーリー

村の掟によって70歳を迎えたカユ（浅丘ルリ子）は、姥捨山に捨てられた。寒さで意識を失った彼女は、“デンデラ”と呼ばれる集落で目覚める。そこには“デンデラ”の創始者で、自分たちを捨てた村人への復讐を誓う100歳のメイ（草笛光子）、この地を豊かにして村を見返そうとするマサリ（倍賞美津子）、狩猟が達者なヒカリ（山本陽子）など49人の老女が住んでいた。彼女たちと触れ合いながら、村に決められた今までの人生とは違う生き方を考え始めるカユ。やがて“デンデラ”の存続を脅かす事件が持ち上がる。その時カユが選んだ新たな人生とは…？

忘れられないけど思い出したくもない女が帰ってきた。

2 大鹿村騒動記

7月16日(土)
全国ロードショー
原田芳雄 大楠道代 岸部一徳
佐藤浩市 松たか子 瑛太 石橋蓮司 三國連太郎
企画・監督：阪本順治 脚本：荒井晴彦 阪本順治
主題歌：忌野清志郎「太陽の当たる場所」
www.ohshika-movie.com



6月25日(土) 全国公開

この映画は
1000円
でご覧いただけます

©2011 大鹿村騒動記製作委員会